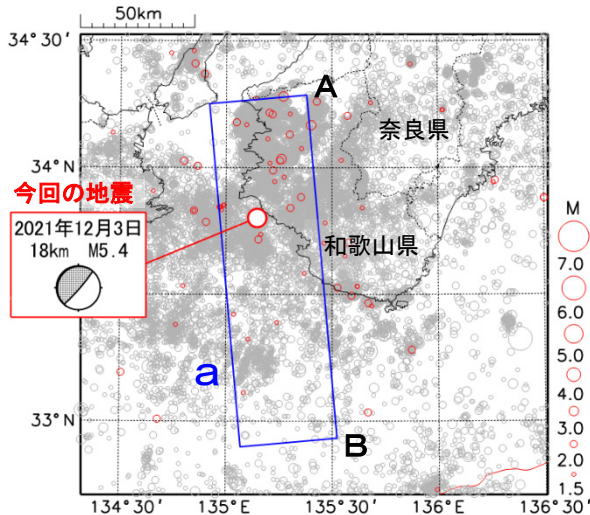


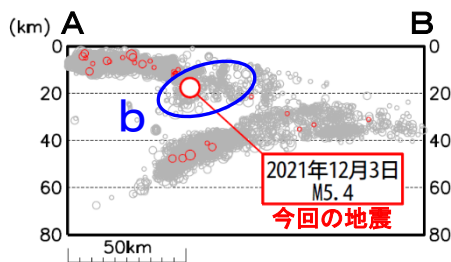
12月3日 紀伊水道の地震

震央分布図

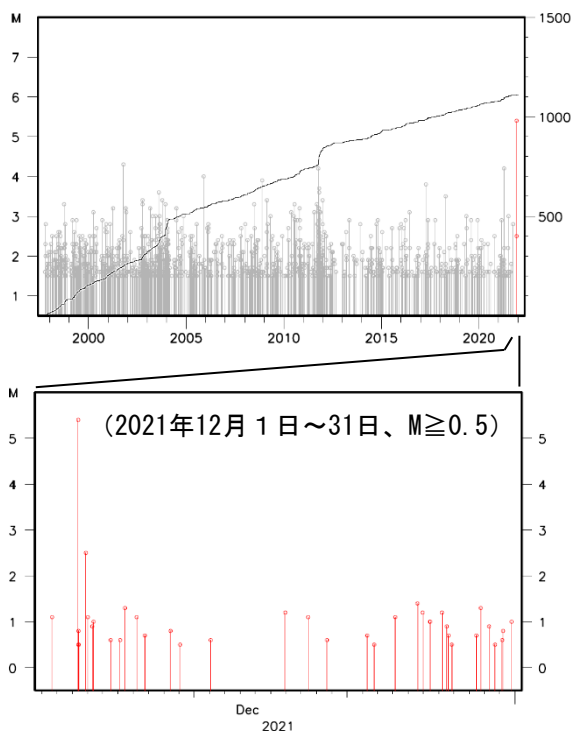
(1997年10月1日～2021年12月31日、
深さ0～80km、 $M \geq 1.5$)
2021年12月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM－T図及び回数積算図



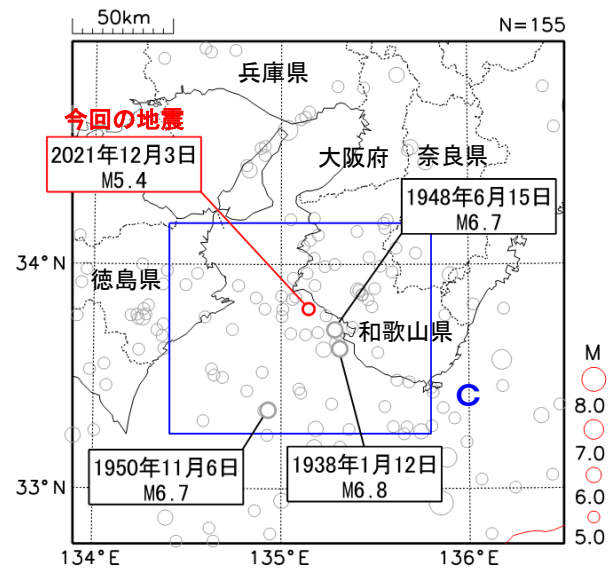
2021年12月3日09時28分に紀伊水道の深さ18kmで $M5.4$ の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構（CMT解）は、北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により軽傷5人、住家一部破損2棟などの被害が生じた（12月13日09時30分現在、総務省消防庁による）。今回の地震後、震度1以上を観測する地震は発生していない。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M4.0$ 程度の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1960年代にかけて $M6.0$ 以上の地震が時々発生していた。このうち1948年6月15日に発生した $M6.7$ の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図

(1919年1月1日～2021年12月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2021年12月の地震を赤色で表示



領域c内のM－T図

